

パブリック・サービス研究分科会 5月 「図書館力」研究グループ報告書	
日時	2011年5月27日(金)
場所	文化学園大学
記録	市川 (法政大学)
参加者	池上 (東洋英和女学院大学)、武藤 (中央学院大学)、市川 (法政大学)
欠席者	阿部 (早稲田大学)、菅原 (中央大学)

作業内容

① 7月例会の見学候補について

- ・東京女子大学図書館
- ・ICU 図書館
- ・法政大学市ヶ谷図書館、学習ステーション
- ・夏に逸村先生 (筑波大学)、竹内先生 (千葉大学) に話を伺う機会を設けたい。

② 論文要旨

- ・学士力、学生の質保証、学習には図書館の支援・図書館力が必要不可欠である。
- ・しかし文科省の「学士力答申」には図書館に関する記述が少ない。
- ・学内的にも図書館力に対する理解が乏しい。
- ・図書館力を最大限発揮して学習支援を行い、学士力向上に寄与する「理想の大学」を示し、図書館の必要性・可能性についてメッセージを発信する論文とする。
- ・理想の大学、学習支援を実現するには教員、他部署との連携が必要である。

③ 仮アウトライン

- I 問題提起
- II 大学図書館の取組、現状
 - 1 日本の大学図書館事例
 - 2 アメリカの大学図書館 (ワシントン大学) 事例
 - 3 日米比較考察、日本に足りない点
- III 理想の大学

④ 今後の予定

- 6月 仮アウトライン肉付け、I～II - 2までの担当割振り
- 7月 各自資料集め・内容まとめ、図書館見学等
- 8月 【合宿】担当箇所内容確認、情報交換、II - 3～III担当割振り
- 9月～11月 執筆、発表資料作成
- 12月 発表
- 2月 論文提出

次回までの課題

- ・仮アウトラインの肉付け (A4 1枚程度) を各自持ち寄る。
- ・ミッションステートメントを公開している大学を探す。

以上